

会議・打合せ等記録

市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

報告日：令和7年11月1日

名 称	令和7年度第2回 環境審議会
日 時	令和7年10月29日（水） 16時00分～17時20分
場 所	市役所本庁2階 第2委員会室
出 席 者 （敬称略）	【委員】関口会長、廣田副会長、山市、高橋（英）、備仲、大毛、仲田、関谷、 浜野、高橋（雅）、小太刀 【欠席】櫻井、橋本、神山、小野 【事務局】大場部長、大出課長、鈴木、高木、奈良部 【環境課】上田係長、和久井担当主査 【資源循環課】渡邊課長、渡邊係長、長岡係長、小池主任主事 【林政課】古澤課長補佐
内容及び 結果等	1 開会 2 会長及び副会長選出 3 会長挨拶 4 議事 （1）協議事項 森づくり条例の制定について 説明：《林政課 古澤》資料1に基づき説明 《環境課 鈴木》事前質問回答表により説明 ＜質疑等＞ 【仲田委員】事前質問にも回答いただいたが立入調査の明文化について質問したい。市の権限を明記することは重要だと思うが、理念条例である本条例の性質を鑑みるに、20条のみ具体的な行動が明文化されることに違和感を感じた。他の条項で例えれば、9条においては、森林の把握について現状の把握等に必要な措置を講じるとあるが、どのような措置か具体的な内容は記載がない。立入調査の記述のみ具体的にしたその点についてどのような考えか？ 【古 澤】今回森づくり条例を策定するにあたり、他の自治体の条文を参考にした。立入調査について記載している自治体も複数あった。鹿沼市は森林経営管理事業という事業を行っているが、これまで職員の立入権限について明確な条項がなかった。地元住民からそういった条文を作成するべきではないかという意見もあり法令担当部署とも協議し、市の持つ権限を外部に示す意味でも記載することが妥当ということで、今回の条例案となった。今後、法令担当部署と協議を重ね、具体的な調査事由を追記していく予定である。森林の把握、森林整備や保全の状況の確認、その他条例の施行に関して必要な事項の調査のため、職員を立ち入らせることができる旨の条文とする予定である。

【山市委員】以前県の孟宗竹に関する研修に参加したことがある。通常のメンマは中国産が多く、日本では石垣島で栽培できるかどうかぐらい希少種のようなものである。だが、日本にある孟宗竹によりメンマが作ることができると研修で教わった。鹿沼でもメンマができればいいなという憧れがある。事前質問もしたが、行政が投資して竹林の整備をしてもらえればありがたいと思う。

【古 澤】森づくり条例については、上位法である森林法を基に作成している。同法における森林の定義には竹林も含まれており、森林を整備することは竹林を整備することにも繋がると考えている。竹林は、地域資源として価値を見いだすことができるものであり、保全を推進していくべきと考えている。放置され荒廃した竹林に関しは、森林と同様整備すべき対象でもある。保全整備両面において施策に取り組んでいくべきである。

<結論>

了承する。

(2) 報告事項

ア かぬまの環境（第5次環境基本計画令和6年度実績報告）について

事務局：《環境課 高木》資料2に基づき説明

《環境課 鈴木》事前質問回答表により説明

<質疑等>

【仲田委員】多くの項目において達成が困難な設定がされている。令和7年度の二酸化炭素排出量35%削減という目標についても非常に厳しいものと思われる。見直しをお願いしたい。行政側が率先して行動する点は非常に評価したいと思うが、目標の未達成による不利益を懸念している。今回事前質問した公共交通に関する目標値も同様だが、どのような趣旨でこの目標を設定したのか？

【星 野】公共交通機関を利用することで、少しでも稼働する自動車数を減らし、脱炭素を図るという趣旨で目標及び数値を設定したものである。第5次環境基本計画の他の項目や数値目標についても、適切な指標か疑問である項目も見受けられたため、次期計画については、適切な目標設定を目指して計画策定をしたいと考えている。

【仲田委員】地域別環境配慮行動計画の令和6年度各支部実績において、令和2年度実績に比較して未実施となっている箇所が多くみられる。委員の高齢化及び負担増の現状があるかと思うが、これらの目標は各地区で設定しているのか？

【上 田】お見込みのとおり、各地区委員へのアンケート結果を基に各支部にて作成している。

【仲田委員】水質検査について質問である。今回資料を確認して、大芦川において大腸菌数が基準値以上という調査結果を見てショックを受けた。恒常的でなく一時的なものだと判断しているが、清流大橋川の大腸菌数は、しっかり調査すべきと思う。他の河川においても、大腸菌数が増えており、心配な数字である。1年に2回のモニタリングであっても、1回超過したときは臨時調査を行ったり、強化監視する等すべきと思うがどのように考えているか？

【上 田】高い数字を示していることは認識している。しかし、原因を突きとめることが困難である。原因が分からなければ対策も取りづらいところがある。調査については可能だが、原因追及が困難であることはご理解いただきたい。

【山市委員】市内イベントにおける環境周知活動について事前質問した。主催が市でないことを理由に不参加とするのは残念である。重要な活動であるため是非参加を検討していただきたい。

【星 野】市が主催でないため、周知活動をしないということではない。環境課では、11月開催のエコライフフェアやふるさとあわの秋祭りにおいて、環境に関するブースを出展する予定である。環境周知活動については、一月に集中的に活動をした方が効果的なのか、春夏秋冬でイベントを散らし1年間を通して周知活動を図ったほうが良いのか方針を検討していきたい。また、イベントブース出展ではなくチラシを置いてもらうといった協力方法等も考えられる。今年度については調整が困難であるが、来年度以降は様々なイベントにおけるPR活動について、検討していきたいと思っているので、よろしくお願いいたします。

＜結論＞

了承する。

イ 環境に関するアンケート結果報告について

事務局：《環境課 高木》資料3に基づき説明

《環境課 鈴木》事前質問回答表により説明

＜質疑等＞

なし

＜結論＞

了承する。

ウ 大芦川河川パトロール結果報告について

事務局：《環境課 上田》資料4に基づき説明

《環境課 鈴木》事前質問回答表により説明

＜質疑等＞

	<div>なし</div> <div><結論></div> <div>了承する。</div> <div>(3) その他</div> <div>ア エコライフフェアについて</div> <div>事務局：《環境課 星野》</div> <div>11月9日（日）開催予定イベントについて案内する。</div> <div>イ 今後のスケジュールについて</div> <div>事務局：《環境課 星野》</div> <div>次回会議を令和8年2月頃開催予定である。</div> <div>5 答申</div> <div>6 閉会</div>		
配布資料	別紙のとおり		
次回予定	令和8年度2月頃を予定		
記 録 者	環境政策係 鈴木		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	<div>公 開</div> ・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数	1 人